

テレビのCMでおなじみの、玄関が一日で生まれ変わるワンデーリフォーム

リフォームするなら
今がチャンスです!!

エコリフォームで...
最大 **300,000** ポイント
耐震改修工事を一緒に行うと...
+150,000 ポイント

省エネ住宅ポイント制度がスタート*

エコリフォームや一定の省エネ性能を有する住宅の新築に対して、様々な商品等と交換できるポイントを発行する省エネ住宅に関するポイント制度がはじまります。



*平成26年12月27日の臨時閣議決定より

エコリフォーム

窓の断熱 節水型トイレ 高断熱浴槽 節湯水栓

エコ住宅の新築

+

あわせて実施するとさらにポイント加算!

バリアフリーリフォーム	省エネ住宅設備リフォーム
耐震工事	リフォーム瑕疵保険
	既存住宅購入加算

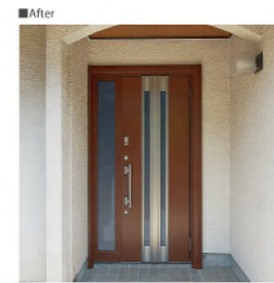
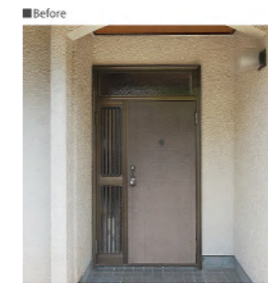
ポイントの対象になる工事

窓、外壁、天井、屋根、床の断熱工事
エコ住宅設備の設置工事及びこれらと同時に
行ったバリアフリー工事、耐震改修工
事などです、
詳しいことはお問い合わせ下さい。

1戸当たり最大300,000ポイント
耐震改修を同時にした場合は、加算されて
最大450,000ポイントもらえます。



暮らし快適。
玄関ドアリフォーム。
1日で取り替えてできる
「1dayリフォーム」



玄関のドアや引き戸、今までは交換するのは大変でしたが、このカバー工法ならば周囲の壁を壊さずに取付られますので、工事は1日で完了します。

その他の1dayリフォーム

窓の断熱、防音に 内装窓 インプラス
窓の安心防犯対策に リフォームシャッター イタリア
いやな虫を防ぎ通風する 横引き収納網戸 しまえるんですa

こんな工事も1dayリフォーム?

畳の表替え 畳屋さんが朝もって行って、夕方には出来上がって
元の通りに、新しい畳の匂いは良いですね。

ふすま、障子の張替え 今は自分でも張り替えられる製品が有りますが、プロの仕事はやはり違いますね。

カーペット張替え 6畳位のお部屋の床なら1日でOKです。

畳〜フローリングに 床材の変更だけなら6畳前後の1部屋が可能

エアコン、給湯器の交換 工事は1日で出来ます。

「リフォーム便り」を同封しました
これまで、お客様から「〇〇〇のリフォームを
したいんだけど、目安になるものがほしい」と
いうお問い合わせがあった際に、現場によって
かなりの違いがあるのですぐにお返事ができ
ませんでした。このたび、このような情報誌
をお届けできるようになりましたので、参考
にして頂ければと思います。
季節ごとに発行いたしますので、ご連絡を頂
ければお届けいたします。



給湯器の故障で何日もお風呂
に入れないのは、四季を
通じてつらいものですね、
変な音がする、リモコンが
誤作動する等は故障の前触
れです、気がついたらご相談下さい、
10年以上使用している場
合は点検をしましょう。

「こんなこと頼んでもいいのかな」と思ったときは遠慮せずにお電話を下さい。

株式会社アンドウライフプラン

電話 03 - 3307 - 8884

FAX 03 - 3326 - 6044

住所 東京都世田谷区北烏山7-8-21

(ホームページ) alp-andou.com 又は(アンドウライフプラン)で検索して下さい。
(メールアドレス) alp@alp-andou.com メールでのお問合せはこちらへどうぞ

対象期間

契約 平成26年12月27日以降契約のもの
着工、着手期間 平成26年12月27日~
平成28年3月31日
工事完了期間 平成27年2月3日以降
ポイント交換申請 平成27年3月10日~
同上 期限 予算が終了するまで

前は、かなり早く申請受付が締め切られま
した。今回は27年11月頃までではと予想さ
れていますが、早まる事もあると思います

1. 内窓の設置	2. 窓交換	3. ガラス交換
既存窓の室内側に樹脂内窓を追加取付して「二重窓」にする。	古いサッシを枠ごと取外し、新しい断熱窓を取付ける。	単板ガラスをアタッチメント付き複層ガラスに取替える。
大 2.8㎡以上 20,000 ポイント 中 1.6㎡以上 2.8㎡未満 14,000 ポイント 小 0.2㎡以上 1.6㎡未満 8,000 ポイント	大 2.8㎡以上 20,000 ポイント 中 1.6㎡以上 2.8㎡未満 14,000 ポイント 小 0.2㎡以上 1.6㎡未満 8,000 ポイント	大 1.4㎡以上 8,000 ポイント 中 0.8㎡以上 1.4㎡未満 5,000 ポイント 小 0.1㎡以上 0.8㎡未満 3,000 ポイント

感震ブレーカー ご存知ですか

震災後の火災の原因が電気器具の加熱やショート等

阪神淡路大震災で、大火災で大勢の方がなくなりました。この火災の原因の一つに、**通電火災**が挙げられます。通電火災とは、震災で停電等になった後電気が開通し、スイッチを切らずに残された家電品等がショートしたり、加熱したために起こる火災です。原因を調査した結果を踏まえて、この通電火災を防ごうと開発されたのが**感震ブレーカー**で、震度5以上の地震を感知すると作動しブレーカーを遮断し電気火災を防ごうという物ですが一般家庭にはまだ普及しておらず、東日本大震災の出火の3割が電気が原因だったそうです。



左の写真は、家庭用の分電盤に取り付けるタイプです、電気工事などは必要ないので取付は楽です。

耐震化が進み、地震の揺れで倒壊する建物は減っていくことでしょう。震災で今一番問題になっているのは火災です。特に住宅が建て込んでいる都市部で出火したら、多大な犠牲者を出すことになるといわれています。せっかく壊れずに残った建物を火事で失わない為にも、「感震ブレーカー」の取付をお勧めします。当社に見本があります、関心のある方はご連絡下さい

災害時、家族や知人の安否を確認する方法は?

停電になると電話が使えない?

昨年12月、大雪で孤立状態になった徳島県の集落の安否確認が難航した理由に、インターネット回線を使う「IP電話」が**停電**のために**通話できなかつた**事が挙げられています。しかし、**停電**の際に使えなくなるのは「IP電話」だけではありません、現在多くのご家庭で使用している「コードレス電話機」や「fax機能付電話」の中にはコンセントに接続しないと通話、通信ができない機種が増えています。便利なはずが、いざというときに役に立たないというのは困りますね、お宅の電話が停電の際に使えるか、調べてみて下さい。停電の際に使えない電話機でも「無停電電源装置」というバッテリーを取り付けることで数時間の停電はしのげるそうです。家電量販店でも販売されているようなので、主な通信手段が電話のご家庭は検討されてもよいかと思えます。

災害時に役立つ日常的な備え

停電対策

電気に頼らないで温かく過ごすために備えておくとい物、石油ストーブ、使い捨てカイロ、カセットコンロ、照明の確保、電池式LEDランタン、ヘッドランプ 懐中電灯、乾電池（10本単位で用意）

断水対策

飲料水の備蓄、ペットボトル等の水（長期保存できる）を保存するには、置いておく場所に注意、すぐに取り出せるようにしておくことが大事です。

生活用水の確保 浴槽に常に水が入っているようにすれば、トイレ、掃除等で使えます。

食糧の備蓄

非常食として売っているものだけではなく、普段使っている乾物（乾麺類、カットわかめ、切干大根、等）や、肉、魚、野菜などの缶詰を**余分**に買って置き、古い日付の物から使っていく、冷凍庫の活用 冷凍庫の中身は隙間の無い様に入れておくことで、互いに保冷材のようになって冷やし合うので、電源が切れてもしばらくは溶けないそうです。

ゆらゆらゆれて家族をまもる家

震度7クラスの地震が発生したら、どこに避難しますか？

「避難所へ行けば何とかなる」と思っていないですか？ 地震で家が倒壊したり、倒壊の危険があつて住めなくなった人以外は、避難所に行っても入れてもらえないと思ったほうがよいでしょう。

ではどうすればよいのかというと、自宅で生活スペースを作り生活するしかないのです。以前は3日間は自分で何とかしてくださいと言われていましたが、現在は7日間となり、会社など人を雇っている所は社員の人数分の備蓄をしなくてはいけなくなっています。自宅を唯一の避難所にするには、どうすればよいか、自分や家族の命を守る為に 普段から考えておくことがをお勧めします。

災害時に水・電気・住空間を確保できる防災住宅

1、水の確保 給水配管上にタンクを配置し、通常時は常に循環、

断水時にはタンクから水を供給 家族の1週間分を確保。

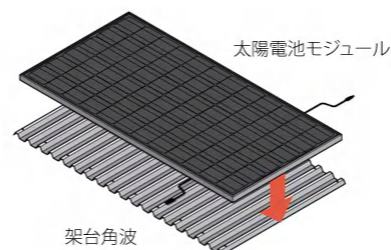
飲食用の水 1人1日30×家族数×7日分以上の確保

2、電気の供給 太陽光発電と蓄電システムから最低限の電源を

確保。照明・テレビ・携帯電話の充電などができる

3、住空間の確保 免震装置により地震の揺れを軽減、家具や家電品の転倒や飛び出しを防ぎ、壊れない家に。

被災後の修理や片付け、など復旧が早く出来る。 本震後に繰り返し来る余震にも耐えられる住宅



屋根一体型のソーラーパネルです。屋根のリフォーム時に設置する事で施工費の節約になり、設置後のお手入れが楽になります。

当社が屋根一体型太陽光パネルにこだわる理由

災害時の電気を確保する手段として、太陽光発電と蓄電池が見直されています。家電量販店などでも宣伝をしているために、自宅の屋根にソーラーパネルの設置をお考えの方も増えてきているようですが、これまでのソーラーパネルは、既存の屋根に設置した場合に、雨漏りなどのトラブルが発生して問題になっています。

屋根からの雨漏りは、建物を痛め寿命を縮める原因になります。

当社でも、お客様からリフォームでソーラーパネルの設置のご相談が以前からあったのですが、自信をもっておすすめできる製品がなかった事から、。良い製品はないかと探していたところ、この「屋根一体型ソーラーパネル」を見つけたのです。屋根の専門家が開発したこの「屋根一体型ソーラーパネル」をお勧めします。